

記 事

消 息

永富独嘯庵 250 回忌

黒川 達郎

黒川醫院

今年平成28年(2016)は明和3年(1766)に永富独嘯庵が35歳の若さで亡くなってから250年になる。そのことを私が知ったのは、今年5月に広島で行われた日本医史学会の会場で「永富独嘯庵250回忌」の話題が出たからである。私は自分の演題を発表した直後で、やや呆然としていたが、「黒川先生にやってもらってもいい」という声を聞いた瞬間に、永富独嘯庵250回忌は自分が先頭に立って成し遂げねばならぬと覚悟した。

尾台榕堂顕彰会を立ち上げたときなどの経験から、「したほうがいい」という者は多数いても、実際に行動するものは極めて少ないということを知っているからである。

さてこのような経緯で、この平成28年10月30日(日)に墓のある大阪蔵鷺庵で、250回忌の法

要を行った。私の力不足、徳のなさから、参加者は4名にすぎず、しかもそのうち1名は私の大学時代の親友を数合わせのために連れてきたものである。それでも永富独嘯庵にふさわしい法要が出来たと考えている。

ふさわしいというのは、独嘯庵は世間の常識や慣習にとられる人ではなく、法要の参加者の数などというものに捉われることはないと確信できるからである。

写真はそのときのもので、右から庄子昇先生(前徳島文理大学薬学部教授)、奥村良筑の10代目子孫の奥村忠先生(越前市奥村眼科医院院長)、蔵盧庵住職の磯田芳竜氏、そして私黒川達郎である。

永富独嘯庵の師匠筋にあたる奥村良筑の子孫



蔵鷺庵永富独嘯庵墓石前で。右から庄子昇先生、奥村忠先生、磯田住職、黒川達郎

が250回忌に参加してくれたことは、きわめて意義深く、その実現に私も関与できたことは名誉に思う。

その故事を紹介すると奥村良筑の声名を聞いた山脇東洋は、宝暦2年(1752)息子山脇東門と永富独嘯庵を越前に行かせ吐方を学ばせた。時に良筑67歳、独嘯庵21歳、東門17歳であった。二人の若者を迎えた良筑は「吾子千里来り見ゆ、猶竹林に華を生ずるが如し。死すとも遺憾なし」と語ったという。独嘯庵のことだから、きっと良筑に厳しい質問もしただろうが、それを温かい眼差しで受け答える良筑の姿が見えるようである。

この日は雲一つない日本晴れで、明るい光が写真にも感じられる。

またこの寺の家紋は卍を逆にしたもので、蜂須

賀家のものであり、住職から寺と永富独嘯庵の関係について興味ある話を聞いたが、報告は知識の肉付け、裏付けをしてからにしたい。

永富独嘯庵 251 回忌のお知らせ

日時：平成29年10月29日(日)
 場所：大阪府天王寺区蔵鷲庵
 午前11時より法要、引き続き直会
 会費：1万円
 申込、問合せ：大分市府内町2-2-1 名店ビル2階
 黒川醫院 黒川達郎
 ☎097-535-7655
 Eメール：kokundou@gmail.com

例会記録

日本医史学会 11 月例会

平成28年11月26日(土)

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

1. 下関関係の医学史料・史跡 小曾戸 洋
2. 佐藤進と李鴻章——その2—— 酒井 シヅ

日本医史学会・日本薬史学会・日本獣医史学会・ 日本歯科医史学会・日本看護歴史学会・洋学史学 会 合同12月例会 平成28年12月17日(土)

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

1. 新たに発見された養生所遺構の保存について
(緊急提言) 相川 忠臣
2. 牛痘伝播についての小考
洋学史学会：青木 歳幸
3. 江戸時代までに渡来したヨーロッパ医学の実像
日本医史学会：坂井 建雄
4. 石館守三博士の生涯から教えられるもの：
3つのお仕事に焦点を絞って
日本薬史学会：森本 和滋

5. 日本の鶏病の歴史——鶏のサルモネラ症の防疫史を主題として——

日本獣医史学会：佐藤 静夫、佐藤 国雄

6. なぜ歯科医学は大学学部から除外されたか
——戦前の高等教育史——

日本歯科医史学会：金子 譲、吉澤 信夫、
片倉 恵男、福田 謙一、
上田 祥士、齊藤 力

7. 学校看護婦の再教育——全国学校看護婦講習会
に焦点をあてて——

日本看護歴史学会：滝内 隆子

日本医史学会 1 月例会 平成29年1月28日(土)

順天堂大学第2教育棟3F301

1. 『痘科鍵』にみる池田瑞仙への影響
西巻 明彦
2. 歴史をあむということ
岡田 靖雄